

令和6年11月28日

会員各位

一般社団法人東京都トラック協会
運輸安全委員会
委員長 森本勝也

安全確認の徹底による交通事故未然防止について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、東ト協の事業各般にわたり、種々の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年警視庁管内における事業用自動車に関与した死亡事故は、11月25日までに27件発生しており、昨年同期（21件）と比較して大幅に増加しています。

9月18日付けで運輸安全委員会委員長名による注意喚起文書を発出したにもかかわらず、それ以降においても事故件数がとどまらず、既に昨年中の死亡事故発生総件数（25件）を優に超えてしまったことは残念でなりません。

本年の死亡事故発生の特徴として、半数以上の14件が歩行者・自転車との事故であり、そのうち10件は横断歩道内で発生したものです。

また、渋滞等で停止していた車両の列に後方から追突した死亡事故が4件も発生しており、運行中は前方や周囲の状況に対して注意を怠らないことのほか、単調な道路での走行は漫然運転に陥りやすいことを意識して、緊張感を持つことが重要です。

これから年末の繁忙期に入り、道路交通の輻輳とともに、事故が多発する傾向にありますので、事故の未然防止及び交通事故死者数をこれ以上増加させないために、歩行者保護の徹底と安全運転意識の向上を目的とした行動をお願いいたします。

特に12月10日（火）から来年1月10日（金）まで、「年末年始の輸送等に関する安全総点検」が実施されます。より一層安全意識を高め、歩行者・自転車はもちろん、他の交通にも十分注意するとともに、交差点や横断歩道における安全確認を徹底されますよう、運転者に対して強力な指導をお願いいたします。

敬具